



市政をズバリ問う!

一 般 質 問

本定例会での一般質問は、3月9日から11日までの3日間行われ、14人の議員が質問しました。その質問と答弁の要旨をお知らせします。

原稿は議員本人によるものです。

筑後市の児童の学力と今後の教育ビジョンについて問う

問 完全学校週5日制がスタートして約3ヶ年になるが、当初から心配された学力の低下がテストの結果明らかになった。ゆとりの教育と学力向上のバランスが重要と考えるが、筑後市の学力テストの結果については。

教育長 議員が言われる様に、自ら課題を見つけ自ら学び考え主体的に判断し問題解決を図って行こうとする資質や能力を総合して学力というが、知識理解の点数だけ言えば、上まわっている。

問 地方分権の推進と共に地方の教育力が問われるが、これからの筑後市の教育のあり方（ビジョン）について教育長の考えは。

教育長 子供が行きたい学校、親が通わせたい学校、教師が勤めたい学校を目指す。信頼される学校づくり、確かな学力づくり、豊かな心を育てる学校づくりの三つの柱を遂行していきたい。

入札制度の今後の方策を聞きたい

問 談合防止策の改善点については。

助役 ①指名業者の事前公表を事後公表に

②20%の損害賠償の請求

③指名停止期間の延長

④職員が、談合と疑うに足る事実を得た場合の公

正入札委員会の開催

⑤入札参加者全員の、4ヶ月以内の指名回避

⑥設計金額の7割の最低価格の制限

⑦郵便入札制度

村上 知巳 議員

地元企業の受注を増やすべきではないか

問 学校建設工事は、以前は地元企業により実施されていた。大手の技術はあえて必要とは思わない。現に八女高校や八女工業は地元企業のみで完成している。

助役 設計金額にもよるが検討したい。

市長 以前の実績があるということ、その能力はあると思う。工事高に対する不安もあるが、除去出来れば、地元企業で出来る事は歓迎する。



地元企業の建設した八女高校